



# とべ おにやんま 飛翔！ 鬼蜻蛉



登別小 HP : [http://www.noboribetsu.ed.jp/~nb\\_info/](http://www.noboribetsu.ed.jp/~nb_info/)

## 令和6年度 第5回学校運営協議会 兼 第2回地域いじめ対策委員会終了 1年間誠にありがとうございました

2月27日(木)18:00より、本校会議室で、本年度最後の学校運営協議会を実施、無事終了いたしました。委員の皆様、ご出席並びに、貴重なご意見を賜り、まことにありがとうございました。次年度も、より多くの機会で、学校運営協議会委員の皆様、地域学校協働活動にご協力くださっているコーディネーターをはじめ地域・ボランティアの皆様、そして保護者・PTAの皆様にも子どもたちの様子、教育活動の様子を見ていただき、「地域と共にある学校」として、学校運営改善に努めてまいりたいとおもいます。みなさま引き続き、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。本協議会で、話し合った事項、いただいた主な意見・質問等は以下の通りです。

※青字は学校から

### <① 現在の教育活動の状況、次年度年間予定 について>

※現在の学校の状況、今後・次年度の予定等について、事務局から説明

○特に意見・質問なし



### <② 令和6年度後期学校評価結果 について>

○学校評価書については、C評価になっている項目を、組織全体で、できるだけB以上になるようにしていくことが必要。

→家庭との連携も必要なことなので、取組の充実、啓発・連携に努めてまいります。

○家庭学習などの項目について保護者や家庭の評価が低いが、家庭学習は、学校ではどのようなもの、何をすべきものとして捉えているか。学びにも、さまざまな種類があり、音楽や図工、お手伝いやスポーツも、学びと言える。

→学校としては、日常的にノートに行うだけではなく、探究、調べもの、リコーダーなど、幅広く興味に応じて深く学ぶことを家庭学習として推奨しており、学んだことを、家庭学習チェックシートに入力し、記録することとしております。ただし、ご家庭・保護者が『家庭でわが子にしてほしい』家庭学習とは、意識の差があるかもしれません。

○個人が探究したいものを『学び』としてすべて認めると、趣味・遊びと、勉強・家庭学習との線引きが難しくなる側面もあるのではないかと。

→家庭学習の内容は、小学校段階では、何を学ぶことが、今必要か、また、何を学びたいかについて、保護者と子供が合意形成・理解納得することが大切と考えております。それぞれが探究したいことは、もちろん進んで学んで欲しいですが、基礎的・基本的な分野を、家庭学習でしっかりと身に付けること、また、学びを習慣づけることも大切であり、学校としては、時間割の下段、学級通信などで、取り組んでほしい基礎的な内容について定期的に紹介しております。

○学びたい、調べたい、という気持ちを学校で高めていく、保護者と連携していくことが大切ではないかと。

○自分の思いや考えをうまく話せない子が20%くらいいるということだが、逆に捉えれば、話せる子が、80%いる、という肯定的な捉え方もできる。

→児童へのアンケートの結果をみると、思いを書くことはできるが、思いを伝えることが苦手、という側面がみとれます。伝え合う機会、伝えたいと思う場面を、学校として、今後も適切に設定してまいります。

○スマートフォンの普及によって、そういう側面(書けるが話せない)が強調されている部分もあるのではないかと。

○実際には、書くことの方が難しい。書くことができれば、あとは伝えるのは勇気では。

○伝え合う人数。学習場面などで、グループサイズをどう調整するか。という問題もある。

→学校としては、2人、少人数、大人数、フリーなど、人数を状況に応じて変化させながら、対話的な活動を進めてまいります。

○先生たちと子どもたちの信頼関係が今どういう状況か、というのが気になっていたが、学校が楽しい、という回答が多く、よかったと思う。

- 緊急対応、危機管理に関しても、評価がよくなっており、安心した。
- いじめ等の問題についても、しっかりと取り組まれている。

### <③ 令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 について>

- タブレット、メディアに時間がとられて、運動が不足している子どもが増えているのではないか。
- 徒歩で行動している子どもも、休日みると減っている印象がある。
- 公園などに行くと、子どもたちが遊んでいる様子が見られるが、遊んでいる内容はゲーム。ということがある。
- スポーツ少年団活動は、登別地区・登別小学校ではどうか。  
→登別地区が母体となっている少年団は、現在はないようです。幌別地区や、登別市全体のスポーツ少年団に入って活動している児童も本校にはいるようです。
- スポーツに興味がある子はスポーツ少年団に入るが、興味がない子は、ますます運動に触れる機会がないという状況がありそうだ。
- 休み時間に、短い時間で体を動かしたくなる仕掛けも、考えていく必要があるのではないか。
- 登下校の際の、学校への車の送迎も、子どもの体力に影響しているように思う。

### <④ 現在の本校のいじめの実態 について>

- 嫌な思いをしたときの対応・認知については、アンケート以外ではどうか。  
→アンケート以外でも、日常的に、児童本人・友人・クラスメイトから、また、保護者等から訴えや相談があったり、教職員が察知・確認したりするなど、学校で認知したものは、担任個人の対応とせず、全て組織的に校内いじめ対策委員会で対応しております。
- 担任一人の対応にしないという、組織な対応は大切である。今後も大切にしていきたい。
- いじめを原因とした不登校は現状あるか。  
→現状はないと認識しております。いじめ等、嫌な思いが不登校に繋がらないよう早期に対応することが大切と考えております。
- 嫌な思いをした時の表現が苦手な子はいないか。昔は相談箱のようなものを作っていた時代もあったが。  
→令和5年度より、いじめだけでなく、児童の様々な悩みに対応するため、オンラインで「鬼っ子お悩み相談室」を開設しており、今年度も複数の活用がありました。活用数が少なくても、相談しにくい、直接言いにくい児童のための大切な窓口の一つとして、今後も継続してまいります。

### <⑤ 令和7年度学校経営方針 について>

- マーチングバンドなど、特色ある教育活動の維持継続が、教職員の負担になっているのは否めないが、貴重な活動であることから、持続的に取り組を進めていただきたい。
- マーチングバンドの指導できる方が、登別小学校に教職員で来ていただくことはできないのか。



→学校としては、そのような方にきていただきたいと、要望はしております。また、地域にご指導・ご協力いただける方がおりましたら、ぜひご紹介いただければ、ありがたいです。  
☆学校長より、令和7年度学校経営方針について説明後、方針について承認いただきました。

### <⑥ 意見交流・その他>

- 登別中の統合について、あと2年となった。保護者に対しては、この間、何か説明があったか。  
→今年度4月に教育委員会職員が来校し、保護者に対し統合・校区一体化関係の説明をおこないました。今後、市から説明の機会を設ける依頼があれば、学校としても対応してまいります。
- 統合後の、中1ギャップなどについては、心配しているところである。
- 夏休み明け、本校の児童が、倒れている高齢者を助けたという事例があった。町内会の方たちも大変感心していた。
- 通学路の橋の件。狭くて危ないという話が以前からあったが、先日、市の地区懇談会があり、町会として説明をしたところである。橋の更新までは対応が困難なようだ。

**保護者・PTAの皆様、学校運営協議会の皆様、登別地区地域の皆様、これからも、引き続き、登別小・中の子供たちの健やかな成長のために、ご協力をお願いいたします。**

#### <次年度の学校運営協議会の予定>

- |     |           |  |
|-----|-----------|--|
| 第1回 | 6月26日(木)  | ○今年度の学校経営について ○1学期の教育活動について<br>※第1回地域いじめ対策委員会 を兼ねる pp                |
| 第2回 | 9月24日(水)  | ○児童の様子について ○前期学校評価結果等について  |
| 第3回 | 10月28日(火) | ○児童の様子について(座談会)<br>※ふれあいDAY(地域参観日)実施後に開催                             |
| 第4回 | 12月17日(水) | 【登別小・中学校合同学校運営協議会(兼)登別地区地域学校保健委員会】<br>○児童生徒の健康、健康・生活習慣等について          |
| 第5回 | 2月26日(木)  | ○後期学校評価結果について ○学校関係者評価について<br>○次年度の学校経営方針について<br>※第2回地域いじめ対策委員会 を兼ねる |



※各種感染症感染拡大状況や学校の事情などにより、日程・内容の変更・中止の可能性もございます。